

令和3年度 第2回 帯広市行財政改革推進委員会 議事要旨

日時：令和4年3月4日（金）午後3時30分～午後4時20分

場所：帯広市役所 10階 第2会議室

出席委員

岩本博幸委員長、岩崎優子委員（委員長職務代理者）、河西智子委員、久門修委員、坪沙代委員

事務局

総務部 組織人事室 人事課

天池人事課長、藤芳行政改革主幹、千葉人事・行革係長、東主任補

傍聴者等

報道関係者2名

会議次第

1 開会

2 議題

(1) 帯広市行財政改革計画における令和3年度の総括について

(2) その他

3 閉会

議事概要

発言者	時程	内容
事務局	15:30	これより、令和3年度 第2回 帯広市行財政改革推進委員会を開催する。 本日、委員6名中、5名の出席をいただいているため、帯広市行財政改革推進委員会設置要綱第7条第2項の規定により、会議が成立していることを報告する。 (会議趣旨説明、資料確認) 今後の議事については、設置要綱第6条第2項の規定により、委員長が議長を務めることとされていることから、岩本委員長より、進行をお願いします。 (委員長から挨拶)
委員長	議題(1)	はじめに、(1)「帯広市行財政改革計画における令和3年度の総括について」
事務局	15:35	を議題とする。事務局から説明されたい。 (資料1・2に基づき、年度総括について説明) 説明は以上である。

事務局	<p>なお、本日欠席の委員より、取組の進捗評価が「さらなる推進が必要」とされた項目について、何らかの着手がされているものなのか、それとも停滞しているのか、との質問をいただいた。先の進捗状況の説明でも触れたが「さらなる推進が必要」と評価した4件の取組については、利害関係者との調整も含め、各取組の中でも比較的難易度が高い、チャレンジングなものであると認識している。このことから、担当部署との間で、課題や今後の方向性を共有した上で、取組や検討を進めているところであり、今後も担当課との間で随時、進捗を確認しながら着実に取組を進めて行く考えである。</p>
委員長	<p>委員の皆様には、計画の進捗及び成果について、忌憚のないご意見を頂戴いただければと考えている。</p> <p>(質疑応答)</p>
委員	<p>進捗状況の報告書案の総括について、「さらなる推進が必要」と評価された取組については、どの点でそのように評価され、今後どういった形で推進していくのかを示した方が、改革を進めているということが市民に伝わるのではないかと。</p>
委員長	<p>具体的な対応について、何かコメントがあった方がいい。</p>
事務局	<p>表記の仕方については、改めて検討させていただく。</p> <p>「行政手続きオンライン化の検討」において、マイナンバーカードの利用が前提となっているように、今後はマイナンバーカードをいかに普及できるかが重要課題と思われる。その中で、コミュニティセンター分室機能の廃止時期の再検討を令和4年度まで延ばしているが、マイナンバーカード交付率が何%に達したら廃止といったような廃止条件の考え方は現段階でもっているか。</p>
事務局	<p>判断するための指標として、例えばマイナンバーカードの交付率のほか、コミセン分室とコンビニそれぞれの交付数の比較など、様々な観点から状況を分析し協議を進めて行く必要があると考えている。なお、コンビニ交付率がいくら上昇しても、コミセン分室の利用がゼロになることはないことで、その中で一定の線引きが必要であると考えている。</p>
委員	<p>行革の取組を進める上では、マイナンバーカードの普及が欠かせないので、その観点を取り入れた上で取組を進めていただきたい。</p>
委員	<p>併せて、「施設におけるキャッシュレス決済の導入検討」の評価が「さらなる推進が必要」となっているが、令和4年度より年次計画に追加した「情報収集」というのは、検討を行う前の手順ではないのか。</p>
事務局	<p>市が直接運営をしている施設には動物園や児童会館などが挙げられるが、道内他市町村の同様の施設において、キャッシュレス決済を導入している施設と未導入の施設がある。実態として、キャッシュレス決済導入後のコストや環境整備等、議論の具体化が現段階では進んでいないことから、まずは他の自治体のやり方などを聞きながら進めて行くしかないという点で、情報収集と記載している。</p>

委員長		<p>広く情報収集をしていくことは重要。キャッシュレス決済を導入する上で、メリットもあれば、システムメンテナンスのようにランニングコストがかかる部分もある。検討を進める上で、情報収集を含めて総合的に行ってほしい。</p>
委員		<p>「施設の維持管理業務の包括委託の検討」の評価が「さらなる推進が必要」となっている件について、元々どういった包括委託を想定していたのか。また、どのような点でこういった評価としたか教えてほしい。</p>
事務局		<p>市の施設は多数あるので、例えば複数の施設を一括して1つの事業者へ委託することで、スケールメリットによりコストが下がるなどの効果があるのではないかとというのが計画策定当初の想定。ただ、複数の施設を包括委託すると、ある程度大きな業者に委託せざるを得ないことから、地元の小規模事業者への発注量を確保する視点も必要との考えもあり、取組が当初の想定通り進んでいない状況。</p>
委員		<p>各取組によって目指すゴールの時期が異なるので、進捗評価の統一性が難しいと感じる。</p>
委員長		<p>計画には、短期的な目標もあれば中長期的な目標など、様々なものがある。また、時期が重なり合っているものもある。まずはできるものからやっていかないと、最終的な目標にたどり着かない。特に、ICTの部分については、前段の細かいところを達成できないと、次の段階に進めないものも多く、時期を分けて取り組んでいく必要がある。</p>
委員		<p>北海道では、来年度より1人1台スマホが支給されることが決まり、業務用パソコンとの連携等、ICT分野で良い変化が出てきた。そこで、参考として市が行ったテレワークの実施方式の追加について、どのようなものなのか教えてほしい。</p>
事務局		<p>昨年度までは、市の端末を自宅に持ち帰り業務を行っていたが、今年度からは、自宅のPCでもテレワークできるようにしたことで、よりテレワークに取り組みやすい環境を整えた。新型コロナウイルスの感染者数が増えてきたことも影響し、テレワークを行う職員が増えてきたのではないかと考えている。</p>
委員		<p>コロナ禍で社会的にはテレワーク環境は整ってきているが、実際にテレワークを選択するという認識面での変革はまだだと実感する。市役所では今後の普及の可能性はどうか。</p>
事務局		<p>テレワークについては、利用職員は増えてきたものの、まだ普及の余地はあると捉えている。また、仕事の進め方やマネジメントの部分も含めて環境を整備していく必要がある。</p>
委員長		<p>テレワークでもできる業務と、対面でないと難しい業務があるので、テレワーク環境のハード面が整っても、マネジメントのようなソフト面も並行して整理を進めて行かないと普及が進まない。新型コロナウイルス感染者数も増加しているので、ぜひソフト面も含めて普及に取り組んでいただきたい。また、感染が収束したアフターコロナにテレワークを選択肢として残すのか、長期的な目線で計画を実施し</p>

委員長		ていただきたい。
事務局		ペーパーレス化を推進しているが、本会議においても各委員は紙で資料を用意している。本会議にも取り入れていくのはどうか。
事務局		事前にデータを送付することで、印刷して持参する以外にも、パソコンを持ってきていただく等、様々な選択肢を用意している。
事務局		本来であれば、本委員会においては、タブレットをお貸しして、資料を見ていただくというのが理想だが、環境が整っていないことから、現時点での形として捉えていただきたい。
委員長		内部の会議については、基本的にパソコン持込で行っているが、紙にメモをとりたいという職員もいるため、紙の使用も選択肢として残している。
委員長		行財政改革推進計画全体でみると、進捗状況については概ね計画通り進んでいると感じるが、複数の部署が関わっている取組の推進は容易ではないと捉えている。コミュニケーションをうまく取り入れながら、さらなる推進をはかっていたきたい。
		他に意見等はないか。
		(意見等なし)
委員長		意見がないようなので、この議題については、これで終了する。
委員長	議題(2) 16:15	つぎに、(2)「その他」を議題とするが、事務局から何かあるか。
		(特になし)
委員長		特にないようなので、この議題について、これで終了する。
委員長		最後に、全体を通じて、各委員から意見等あるか。
		(意見等なし)
委員長 事務局		特にないようなので、事務局より連絡事項をお願いする。
		次回の開催時期については、今年度と同様に、指標1・2の数値が確定し、推進状況の報告がとりまとまる令和4年10月頃の開催を予定している。時期が近くなったら、別途ご連絡させていただく。
委員長	16:20	本日は、各委員から、様々なご意見をいただいた。市の方で、しっかりと活用し、今後のさらなる取組につなげていくようお願いしたい。
		以上をもって、本日の議事は全て終了する。
		(以上)